

貿易手続きのデジタル化に向けた三菱重工業(株)の 取組状況の紹介・課題共有

日時： 2023年12月14日(木) 17:00-18:30

場所： 経産省17階国際会議室/オンライン併用

2023. 12. 14

三菱重工業株式会社

バリューチェーン本部 SCM部

1. 三菱重工業 民間機セグメントの事例紹介
2. 課題共有

1. 三菱重工業 民間機セグメントの事例紹介

2. 課題共有

1. 三菱重工業 民間機セグメントの事例紹介

1. MSOS(MHI Shipping Operation System)とは

●輸出入管理システム

- ・海外向けの出荷、海外からの製品を輸入する輸出入業務を行う作業支援ツール
- ・関税法・輸出関連法規等のコンプライアンス遵守に活用

●統計・解析ツール

輸出入業務及び国内運搬、梱包業務の依頼-受付-手配-計上まで物流に関する情報を一元管理し、統計の観点から戦略的なツールとして活用

2. 範囲

海外向け輸出
(船便/海上便)

国内運搬
(トラック貸切便/混載・宅配便/
構内運搬/港湾作業/保管費)

輸送
梱包
費用
計上

輸出入
書類の
保存

海外からの輸入
(船便/海上便)

梱包

3. 機能

- 1) 出荷指示書・輸入指示書の作成と関連先への配布(含 該否判定/評価・他法令のチェック)
- 2) 運搬依頼票の作成と関連先への配布(※関連先：社内、乙仲、フォワーダー)
- 3) 梱包依頼票の作成と関連先への配布(※関連先：社内、乙仲、フォワーダー)
- 4) 関連書類の電子化・電子保存
- 5) 帳簿の自動化(Tradebook情報取得、指示書自動リンク)
- 6) 監査記録の保存
- 7) 履歴検索・csv主力
- 8) 費用計上

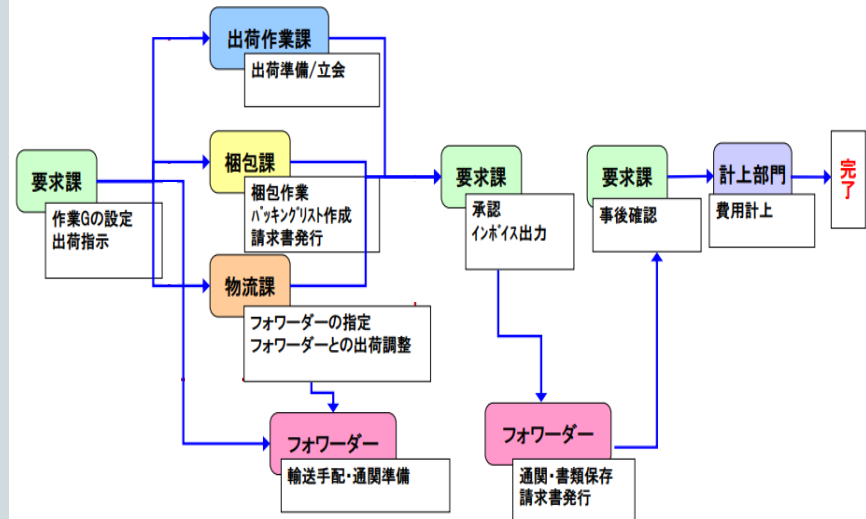
【メインメニュー イメージ図】



4. 業務フロー (一部抜粋)

●海外向け輸出

※要求から検収・計上まで全てMSOSで実施



5. 課題・障壁

●クーリエパートナー様の参画

参画表明頂いたフォワーダー様には、全てにオンライン上で、輸出、輸入、梱包、運搬の作業指示をしており、その結果をMSOS上に登録して頂いているが、クーリエパートナー様は御同意頂けず、参画頂けていない。

6. メリット

- ・フォワーダー様との紙の受け渡しがほぼ無くなっており、作業指示の共有が関係者でリアルタイムで行われている。
- ・管理側としても精度の高いスケジュール管理を実現している。

1. 三菱重工業 民間機セグメントの事例紹介

2. 課題共有

1. 政府への要望

●グローバルプラットフォームの整備・構築。紙書類とデータ転送のダブルスタンダードの回避

物流は国内外で税関、船社・乙仲、荷主、銀行を始め関係者が多く、また、多種多様な書類が存在しており、相手国によっては未だオリジナル書類※を求められる事も多い。データ化の移行において、一部の書類は取り扱えない等 例外が発生すると、実務への負担も大きい。

効果を最大限発揮するには、法整備も含めたグローバルPFの構築、国内PFの連携拡大を期待したい。

※原産地証明書(C/O)、船積前検査証(LPSR)、免税申告時のI/V、P/L等の船積書類一式等。

●システムセキュリティの強化

名古屋港での“LockBit”によるランサムウェアや仮想通貨のハッキングなども発生しており、万一ハッキングによる損失対応も含め検討を進めて頂きたい。

●eBLの早期実現への推進

貿易手続きの中で、相手国によってはオリジナル書類の提出が求められるケースがあり、eBLにおいては早期実現に向けた推進をお願いしたい。

●受注生産型の製造業も考慮したシステム

一般的な物流システムにおいては、消費財やリピート生産を行う量産型の製造業を主眼に置いたシステムは多く存在していると理解している。三菱重工業では、火力発電プラントや肥料プラントなどの受注生産型の事業があり、重量物の取り扱いなど量産型の事業と物流プロセスも異なっている。貿易PFにおいては、受注生産製造業を考慮したシステムを検討頂きたい。

2. 自社で対応していくこと

●社内基幹システムの一元管理化

三菱重工業は、事業が多岐に亘ることから、個別事業により、前後工程が複雑に異なっており、各事業にて最適な独自システムが運用されている。

全社物流機能の強化、一元管理のため、今年度SCM部に物流チームを設立し、①情報の蓄積・見える化、②手配共通化・業務効率化に着手している。

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**